

## 財 産 目 録

令和4年3月31日 現在

1:【合計】

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						
現金		—	運転資金	—	—	0
小口現金		—	運転資金	—	—	145,689
普通預金	親和銀行宇久支店、JAバンク宇久支店	—	運転資金	—	—	57,159,131
定期預金	親和銀行宇久支店	—	ご家族等からの寄附金 施設の 人材育成費用等に活用している	—	—	4,397,475
			小計			61,702,295
事業未収金		—	2、3月分介護報酬 3月分利 用者負担金等	—	—	33,942,182
未収金		—	按分 2~3月分	—	—	5,957,615
貯蔵品		—	災害時用 保存水、非常食	—	—	143,442
前払金		—		—	—	0
流動資産合計						101,745,534
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
土地	佐世保市宇久町平1904番3 佐世保市宇久町平2197番1 佐世保市宇久町平2197番2 佐世保市宇久町平2197番3	—	第1種社会福祉事業である、 特別養護老人ホーム啓寿園及 び職員寮等に使用している	—	—	29,196,738
建物	佐世保市宇久町平1904番3 佐世保市宇久町平2197番1	1998 2018	第1種社会福祉事業である、 特別養護老人ホーム啓寿園及 び職員寮等に使用している	611,850,478	412,012,480	199,837,998
基本財産合計						229,034,736
<b>(2) その他の固定資産</b>						
建物	産業廃棄物/資源ごみ用倉	2020	産業廃棄物/資源ごみ用	348,546	69,708	278,838
構築物	フェンス門扉	—	外部からの侵入防止	218,400	203,840	14,560
機械及び装置	殺菌脱臭機	—	居室、ホールの殺菌・脱臭	787,500	787,499	1
車輛運搬具	ダイハツアトレー、トヨタ ハイエース、ホンダN-BOX 、ダイハツハイゼット	—	利用者送迎用、行事等の備品 の運搬等	10,672,894	10,130,901	541,993
器具及び備品	電動ベッド、見守り介護口 ポット他	—	利用者睡眠用、センサーによ る利用者の見守り等	37,885,466	27,800,676	10,084,790
有形リース資産	パソコン機器、システム	—	介護保険請求、会計、給与他	7,722,000	2,574,000	5,148,000
長期貸付金	(株)MultiStage	—	介護人材受け入れ事業にかか る経費	—	—	2,100,000
退職給付引当資産	親和銀行宇久支店普通預金	—	職員の退職給付引当金	—	—	1,000,000
修繕費積立資産	親和銀行宇久支店定期預金 ゆうちょ銀行定期貯金	—	施設の大規模修繕等の費用	—	—	20,000,000
施設建替資金積立資 産	親和銀行宇久支店定期預金 JAバンク宇久支店定期貯金	—	施設の建替等の費用	—	—	18,000,000
その他の固定資産合計						57,168,182
固定資産合計						286,202,918
資産合計						387,948,452
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金	人件費、物品購入等 3月分	—		—	—	16,123,050
その他の未払金	按分(短期入所) 2~3月分 夏季賞与見込み額のうち、 当該会計年度負担分(12月 ~3月)	—		—	—	5,957,615
賞与引当金		—		—	—	5,550,000
流動負債合計						27,630,665
<b>2 固定負債</b>						
リース債務	パソコン機器、システム	—		—	—	5,276,700
退職給付引当金	親和銀行宇久支店普通預金	—		—	—	1,000,000
固定負債合計						6,276,700
負債合計						33,907,365
差引純資産						354,041,087

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実実績の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
- ・なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。

また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。

- ・ 車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・ 預金に関する口座番号は任意記載とする。